

台風8号被害に際し 教区災害救援ひのきしん隊 松崎町雲見地区被災地へ出動

静岡教区報

第637号

発行所

天理教静岡教務支庁

〒425-0013

焼津市岡当目1番地

TEL (054) 626-1333

FAX (054) 628-4615

Email: skyou@live.jp



8月13日、静岡県に台風8号が上陸。松崎町雲見地区では豪雨によって太田川が氾濫し、30棟以上の民家が浸水被害に見舞われた他、土砂崩れも多数発生した。同日、山口志朗災害救援ひのきしん隊（以下、災救援）静岡教区隊長と伊豆支部の災救援員がいち早く同町社協と折衝し、被害状況を把握。15日にはボランティアセンターが立ち上げられ、22日から31日までの災救援出動が決まった。こうした中、22日の出動を前にした20日、社協から急遽、災救援の出動要請があり、5名が出動して同町の民

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。



家へ。家屋内部の床下に流入した土砂の搬出に終日従事した。続いて22日からは3軒の民家へ。家屋内に堆積した土砂搬出のため畳運び出し、床板はがしを行い、その後一般ボランティアと共に床下に流れ込んだ汚泥さらいを行い、高圧洗浄機で建物の基礎部分などの洗浄をしたり家屋内の清掃などに汗を流した。

延べ38名が実動した。再度要請があり、9月3日には中・西部からの応援も駆け付け、この日は18名が実動。被災された現地の方々からも大変感謝された。山口隊長（駿東分教会長）は「被災者の方々への難渋を思うと、一日も早く復興できるようにとの思いが込み上げてきた。今後も地域の方々に喜んでもらえるよう、精いっぱい活動していきたい」と語った。



少年会員の「感謝の心」育む夏

夏休みこどもひのきしん、各支部で実施

駿豆支部

駿豆支部では7月24日、沼津市千本浜海岸で開催された。同支部

では6月の支部役員会でこれを決定企画し、チラシを作成し『天理時報』の手配りひのき



しんで配布するなど声掛けを進めてきた。この動きを聞きつけた道友社の取材も入る中、支部としても大いに盛り上がり、迎えた当日は少年会員35名を含めて78名が参加した。

午前10時の開催にあわせ支部少年会スタッフが事前にランプのカードを各所に隠し、「宝探しゲーム」を楽しめるよう工夫。家族連れで集まった参加者たちは楽しみながらゴミ拾いを行い、笑顔あふれる楽しい一日を過ごした。また、参加者それぞれが拾ったゴミも各自で持ち帰るなど、環境にもやさしい取り組みとなった。

北遠支部・薫浜幸会場

北遠支部では8月3日、薫浜幸分教会会場で一回目の夏休みこどもひのきしんが行われ、教会近隣の子供達で、ゴミ拾い等の、ひのきしんをさせていただき、その後、夏まつりを開催。お母さん達で、手作りの、フライドポテト、ヨーヨー、とうもろこし、タコ焼き、焼きそば、綿菓子等で、楽しんだ。その後、



スイカ割りをして、約2時間楽しい時間を過ごした。参加者は子供16名、大人14名だった。

伊豆支部



伊豆支部では8月4日、伊豆市の土肥海岸で少年会員2名、育成会員8名が参加し、ゴミ拾いのひのきしんが行われた。あいにく新型コロナの流行で参加者は少なくなつてしまったが、和気藹々と勇んだひのきしんが行われた。その後は西浦分教会で昼食のお弁当を食べて解散した。

西駿支部

8月4日午前9時より西駿支部主催の「夏休みこどもひのきしん」が、焼津市の浜当目海水浴場を会場に開催された。当日は雨天の予報もあり、開催が心配されたが、杉岡支部長の小雨でも決行との強い思いが、まさかの晴天の御守護を頂き、少年会員と育成会員が一手一つとなつて、海岸のゴミ拾いひのきしんを勇んでつとめさせて頂いた。参加



者は少年会員12名、育成会員30名、合計42名だった。

西遠支部

西遠支部では8月6日午前10時より、浜松城公園でゴミ拾いをしました。参加者は少年会員6名、育成会員4名、合計10名でした

北遠支部・引佐会場

北遠支部の二回目の夏休みこどもひのきしんは8月9日、引佐分教会に集合して行われ、当日10時より支部例会を行い、終了後11時より40分間、都田川の川原のゴミ拾いを



行った。暑い中ではあったが、乳幼児2人を含めて子供10名、大人7名が参加した。都田川の川原の深い草むらには空き缶やタバコの空き箱がいっぱいあり、参加者一同勇んでひのきしんをつとめた。

中遠支部

8月19日午前9時よりエコパスタジアムの第11駐車場隣接の花壇整備のひのきしんを少年会員14名、育成会員12名で実施させて頂きました。この会場は、支部内の方が毎月ひのきしんをされている場所、今回はご一緒させて頂きました。

当日はとても暑かったです。花壇内の草取りや花がら摘みを頑張りました。ひのきしん後は、山



名大教会に移動して、焼きそばやかき氷等を食べて、宝探しを楽しみました。

当日は、支部長先生はじめ多くの先生方のお力添えを頂き開催することが出来ました。支部を挙げての行事だった感じがします。少年会員が元気にひのきしんやお楽しみ行事ができて喜ぶ姿がとても印象的でした。

東駿支部

東駿支部少年会は8月21日、「夏休みこどもひのきしん」を実施。



育成会員を含む27名が参加した。当日、参加者は興津分教会に集合。五百部少年会委員、山梨支部長より、「毎日を元気に過ごせることへの感謝の心を持ち、進んでひのきしんに取り組めるようになることを目指そう」と、あいさつ。続いて興津新緑公園で雑草取りのひのきしんに汗を流した。その後はお楽しみ昼食会として、バーベキュー、焼きそばを頬張った。

中駿西支部



8月27日、新型コロナウイルス感染の影響を受けて延期されていた「夏休みこどもひのきしん」が、少年会員10名・育成会員11名・計21名の参加者をもって開催された。予定をされていたバーベキューや紙芝居はコロナの感染拡大を鑑みて中止とした。代わりに、拾ったゴミの種類によってビンゴが成立すると景品のお菓子が貰えるという、支部少年会の趣向を凝らした

東伊豆支部

企画のお陰で、少年会員たちも暑さを忘れて楽しみながらひのきしんをつとめさせていた。当支部では、今回の活動を一発の花火で終わらすのではなく、夏休みに限定せず支部の年間行事の一つとして継続できないか、少年会を中心に各部・各会と相談をしていく予定である。

東伊豆支部では8月28日午前10時から11時まで、伊東市奥野ダム公園展望広場にて、ゴミ拾いのひのきしんを行ない、少年会員7人、育成会員10人が参加し、有意義な時間を過ごした。

※富士支部、中駿東支部はコロナ感染拡大による延期のため改めて掲載の予定。

令和4年 静岡教区 高校生・大学生の集い まなびば 2022 in 川根山の家 開催



静岡教区学生担当委員会（以下、教区学担）は8月19日、20日の2

日間にわたって「まなびばin静岡」を「島田市野外活動センター山の家」で開催した。「まなびば」は、「人格形成の上で大切な時期にある高校生たちが、彼らの生活地域に



において、同世代の仲間とのつながりを深めながら、お道の教えにふれる場を与える」のが本来の目的で高校生が対象の行事で、教区学担では高校生と大学生が一緒に参加しても問題ないと判断し、高校生以上を対象として開催した。ありがたいことに9名もの参加者を頂き、とても賑やかに有意義な時間を過ごすことができた。



初日、全く初めての場所に初対面の参加者同士が集まり、明らかに不安な様子が見て取れたが、開講式前のウォーミングアップでみんな仲良しに。さすが、百戦錬磨の学担のスタッフ！その後、グループタイム①ではお互いの事をもっと知ってもらうためにカードを用いたエクササイズを実施。お互いの理解を深めすっきり



打ち解けた参加者はカレー作りに移った。初めて野菜を切った参加者もいて、少々危なっかしい場面もあったが無事に完成。グループタイム②では、夜の暗さを活かしたエクササイズを体験。光るブレスレットを用いた「ボール運び」や「ボツチャ」を楽しんで大いに盛り上がった。実は、今回の「まなびば」のプログラムは「たすけあい」がテーマ。「ボール運び」などを通して、参加者はいつの間にか助け合うことの大切さ

を学び、入浴の後、就寝。初日を終えた。二日目は朝づとめに始まり、朝食後はグループタイム③。互いに悩み事を相談し合い、相手がいることのありがたさを感じ、二日間の振り返りをした。その後は場所を外に移動しバーベキューを堪能した後はスイカ割りで盛り上がり、楽しい時間はアツという間に過ぎ、帰る時間となり片づけをして、それぞれ帰路についた。

今回9名の参加者を頂いての今回の「まなびば」は、大成功だった。一人でも多くの参加者を目指して声をかけ続けてくれた支部委員、支部、教区の先生方、夜遅くまで会議に参加してくれた委員さんのおかげと、改めて御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。「まなびば」のプログラムの魅力は、知らない間に教えを実践しその大切さを感じることができるところにあると思います。とてもよく考えられたプログラムです。しかし、その魅力、楽しさは参加しないと感じられませんか。教区学担では「まなびば」をはじめ、信仰的にも人としてもブラッシュアップできるような場を提供していきます。未来の教区、教会、お道の担い手である若者の丹精の上に頑張っていけますので、これからもご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

教区学担委員長

岡野 多吉